



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎5144

スギの嘆き

今年もスギ花粉が飛び始めました。環境省によると、今年の花粉の飛散は例年並みとのことです。

スギは風媒花^{ふうばいか}といって、風に花粉を運んでもらい受粉する花です。スギは花粉をより広く遠くまで飛ばすため、気温が高く風の強い日や、空気が乾燥している日を選ぶよう工夫しています。上の写真にある米粒ぐらゐの小さな雄花からは、約40万個もの花粉が飛び出し、風に乗って100kmも飛んでいきます。

ところで、このスギ花粉によって、涙やくしゃみなどの症状に悩まされている方も多いのではないだろうか。私たちの体には、体内に異物が入ろうとするとそれを取り除く働きをする「免疫」が備わっています。スギ花粉症は、スギ花粉に免疫が過剰に反応して引き起こすアレルギー^{アレルギー}症状です。

スギ花粉症の原因として、戦後に植林したスギが放置され、花粉の量が増えているからだとか、車の排気ガスなど大気汚染によるのではないかといわれていますが、いずれも人間がしたことです。スギが花粉を飛ばすことは、子々孫々繁栄のためになくてはならない作業であって、何の罪もありません。

スギへの風当たりが強くなるこれからの季節。スギの木の嘆きが聞こえてきそうです。

森	の
日	記

バードウォッチング

1月22日(日)

陶史の森で、毎月行っているバードウォッチング。1年中で一番寒いといわれる大寒の翌日、森の中に入るとたくさんの野鳥に出会うことができました。枝に止まって「ツツピー、ツツピー」と鳴いているヤマガラ、小さな体に短くて小さいくちばしと長い尾を持つエナガ、胸に黒いネクタイ模様が特徴のシジュウカラなどたくさんの小鳥がいます。



ヤマガラ



エナガ



シジュウカラ

冬の山は木の葉を落としていて見通しがきくので、野鳥を見つけるのに好都合です。林泉の池にはコガモやカイツブリなどの水鳥も飛来しています。

陶史の森では、バードウォッチングに参加する人に双眼鏡を貸し出しています。ぜひ参加してみませんか。

教室のご案内

3月

- 自然教室(自由参加)
3月4日(日)午前9時~11時30分
春を待つ木の芽や草の芽を調べる
- バードウォッチング(自由参加)
3月25日(日)午前9時~11時30分
春の野鳥を観察(雨天中止)

4月

- ギフチョウ観察会(自由参加)
4月8日(日)午前9時~11時30分
ギフチョウの放蝶と飼育方法の解説
- 自然教室(自由参加)
4月15日(日)午前9時~11時30分
春の草花やシデコブシの花を観察
- バードウォッチング(自由参加)
4月29日(日・祝)午前9時~11時30分
春の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。